

整理番号
198

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	雇用促進事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	高校生対象伊達市内企業説明会			担当係	商工振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	雇用対策		事業区分	直営
主な取組	1	若者等の地元雇用の促進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	5	1	雇用促進事業	

目的と方針【PLAN】
活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用の促進する取組を進めます。

事業概要【PLAN】
新卒高校生を対象とした企業説明会や就職促進セミナーを開催し、地元雇用の促進します。

対象【PLAN】	新卒高校生等	意図【PLAN】	高校生の地元就職を促す。
-----------------	--------	-----------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
福島労働局との雇用対策協定に基づき、企業説明会や業界研究などを開催し、就職したい職業を考える場としてもらう。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	252	200	14,831	14,876		
	事業費合計	千円	252	200	14,831	14,876		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
新卒高校生の求人数（ハローワーク福島管内）	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,385	1,463	1,542	1,620	1,700
			実績値	1,385	1,682			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	就職を希望する高校生が一定数いることから、市内企業への就職を促すことで若者の定着が図られている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	高校生が就職説明会に参加してもらうことにより、目標達成に向けた事業効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	福島労働局との雇用対策協定により予算なしで実施できる事業となっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	福島労働局との連携を密にし継続して実施していくべき事業である。就職率99.5%以上と高いため現状維持とする。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
201

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	企業誘致推進事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	伊達市雇用促進奨励金			担当係	商工振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	6	雇用対策		事業区分	直営
主な取組	2	市内企業における市民雇用の促進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	企業誘致推進事業	

目的と方針【PLAN】
活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。

事業概要【PLAN】
伊達市の立地環境を広くPRし、企業の伊達市への立地を誘導します。
また、雇用促進奨励金により地元雇用の促進を図ります。

対象【PLAN】	市内外に立地する企業	意図【PLAN】	企業の立地、雇用の増加から、伊達市の製造品出荷額が増え、経済が活性化すること。
-----------------	------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
工業団地への企業立地が進み、進出企業や既存企業の投資等が増える状態にすること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	100,000	0	0	0		
	地方債	千円	145,500	0	0	0		
	その他	千円	272,710	49,877	258,248	91,344		
	一般財源	千円	7,655	7,141	2,364	3,517		
	事業費合計	千円	525,865	57,018	260,612	94,861		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
企業訪問回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	20	10	10	40	80
			実績値	20	5			
			達成率	100.0%	50.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市の経済活性化および市民の雇用創出の場を確保するため、市民ニーズおよび社会的需要は高いと推察される。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	企業訪問の際に工業団地のPR、情報交換を実施することで新工業団地の企業誘致に繋がったことから、有効な事業だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	地域雇用創出・産業活性化基金繰入金を主な特例財源とし、一般財源の使用を抑えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伊達市の立地環境を広くPRし、雇用促進奨励金により地元雇用の促進を図った。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------

整理番号
203

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	雇用促進事業				担当課	商工観光課		
業務名	若者の離職防止セミナー				担当係	商工振興係		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	6	雇用対策			事業区分	一部委託		
主な取組	2	市内企業における市民雇用の促進			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	5	1	1	雇用促進事業			

目的と方針【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。							
事業概要【PLAN】	若者の離職防止や女性活躍推進等を目的に、求職者や企業向けにセミナー等を開催します。また、市内企業における市民の雇用を促進します。							
対象【PLAN】	求職者や市内事業者			意図【PLAN】	若者の離職防止や女性活躍推進などへの理解度が企業内で高まる			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	求職者や企業向けのセミナーを開催し制度や取組について理解する機会の場を提供する							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	252	200	14,831	14,876		
	事業費合計	千円	252	200	14,831	14,876		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
セミナー参加企業数	社	実績値が目標値以上となること	目標値	15	20	25	30	35
			実績値	11	0			
			達成率	73.3%	0			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	昨年度までのセミナーについては、女性活躍推進やワークライフバランスなどへの理解はあるものの、参加までにつながっておらず、参加者が少なかった。企業にも情報を届ける仕組みとして、動画作成を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	市内企業に周知することで女性活躍推進等を考えるきっかけづくり及び普及啓発を図り事業効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	女性活躍推進に関する事業に実績のあり、国家資格であるキャリアコンサルティングを有している講師を採用し、費用対効果を上げることが期待できる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度作成した動画を活用し、市内企業に周知することで女性活躍推進等を考えるきっかけづくりとし、令和7年度については、職場改善を希望する企業に対して、専門家の伴奏支援へつなげる取り組みを実施する。
--------	----	-------------------------	---